【参考様式】

サービス改善計画書

策定日： 2026.1.16

事業・サービス名： 共同生活援助
短期入所

施設・事業所名： 社会福祉法人はぐくみ会
はぐくみホーム

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
4－(7)－③－3	C	服薬等について、誤薬や忘れなどの際に適切な対応を出来るようにする必要がある。	服薬等について、誤薬や忘れなどの際に適切な対応を出来るようにマニュアルを作成。	2026.4～ 2027.3	谷	
4－(8)－①－1、2	C	今以上に利用者の意向を把握できる方法を模索する。	余暇が充実するように提案の仕方を工夫して	2026.4～ 2027.3	野田	
4－(11)－①－1	C	預り金についての取り扱いで、小遣いの預かり手順が不明確。	小遣いの預かり手順をマニュアル化する。	2026.4～ 2027.3	谷	
4－(2)－①－1	C	介助方法が共有されていない部分があり、支援のバラつきとなっている。	安全やプライバシーの保護を含め、入浴介助や支援・助言方法についてのマニュアル	2026.4～ 2027.3	野田	
7－(4)－①－1	C	他事業所の見学や交流など､意見交換を通じて研修をおこなう。	疑問や悩みなど意見交換したりできる場を設け、また日々の支援につなげる。	2025.4～ 2026.3	谷	
8－(2)－①－3	C	災害、感染症、事故、急病のときに慌てないように対応が出来るか不安である。	様々な場面を想定し、定期的に訓練をする。 年間計画をたてる。	2026.4～ 2027.3	近藤	
8－(2)－①－7	C	救急法を学び緊急時に備える必要がある。	緊急時に慌てず対応が出来るように救急法の研修を定期的におこなう。 年間計画をたてる。	2026.4～ 2027.3	近藤	